

科目名 (科目番号)	基礎看護技術Ⅲ (フィジカルアセスメント)	教員名	北島元治 宮下真理子 看護学科教員	学科等	看護	必修	履修年次	1
	曜日・時限等			時間割表参照	単位数	1		
	授業形態			演習	オフィスアワー	水12時～13時A202		
授業概要	フィジカルアセスメントとは、看護の対象者から得られた主観的情報と、看護師自身が行ったフィジカルイグザミネーション（視診、触診、聴診、打診）から得られた情報を総合して、身体の状態を判断する技術である。人体の構造と機能、病態治療論など専門基礎科目で学習した知識をもとに、身体 の健康状態を系統的に観察・判断できる技術を習得する。							
目的・目標	目的:看護実践に必要な身体的情報を収集・評価するためのフィジカルアセスメントの基本的知識・技術を学ぶ 目標:①人体の構造・機能を意識しながら、フィジカルアセスメントの技術を実施することができる ②身体検査の結果に基づいて正常/異常を評価することができる ③看護の視点から、対象の身体状態を客観的に把握することができる							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	フィジカルアセスメントとは	到達目標:フィジカルアセスメントとは何か、看護における意義、内容を理解できる。 学習内容:フィジカルイグザミネーションについて基本的な方法とポイントを学習する。					
	2	〔演習〕 問診と一般状態のアセスメント	到達目標:一般状態のアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:一般状態のアセスメントについて正常所見および主な異常所見を把握し、診察技術の実 際を系統的に学習する。					
	3	〔演習〕 皮膚・頭頸部のアセスメント	到達目標:皮膚・頭頸部のアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:皮膚・頭頸部のアセスメントについて正常所見および主な異常所見を把握し、診察技術の 実際を系統的に学習する。					
	4	〔演習〕 呼吸器系のアセスメント	到達目標:胸部・肺のフィジカルアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:胸部・肺のフィジカルアセスメントについて、正常所見および主な異常所見を把握し、診察 技術の実際を系統的に学習する。					
	5	〔演習〕 呼吸器系のアセスメント						
	6	〔演習〕 循環器系のアセスメント	到達目標:心臓・循環器系のフィジカルアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:心臓・循環器系のフィジカルアセスメントについて正常所見および主な異常所 見を把握し、診察技術の実際を系統的に学習する。					
	7	〔演習〕 循環器系のアセスメント						
	8	〔演習〕 脳・神経系のアセスメント	到達目標:脳・神経系のフィジカルアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:脳・神経系のフィジカルアセスメントについて正常所見および主な異常所見を 把握し、診察技術の実際を系統的に学習する。					
	9	〔演習〕 脳・神経系のアセスメント						
	10	〔演習〕 腹部・消化器系のアセスメント	到達目標:腹部・消化器系におけるフィジカルアセスメントの意義を理解し、技術を習得で きる。 学習内容:腹部・消化器系のフィジカルアセスメントについて正常所見および主な異常所 見を把握し、診察技術の実際を系統的に学習する。					
	11	〔演習〕 腹部・消化器系のアセスメント						
	12	〔演習〕 筋・骨格系のアセスメント	到達目標:筋・骨格系におけるフィジカルアセスメントの意義を理解し、技術を習得でき る。 学習内容:関節可動域の測定、徒手筋力検査について正常所見および主な異常所見を 把握し、診察技術の実際を系統的に学習する。					
	13	〔演習〕 筋・骨格系のアセスメント						
	14	技術確認	到達目標:フィジカルアセスメントの技術を習得できる。 学習内容:フィジカルアセスメントの技術について確認する。					
	15	技術確認						
成績評価の 方法・基準	【対面時】①筆記試験60% ②技術試験20% ③課題(レポート、小テスト等)20%(筆記試験は60%以上に達していること) 【オンライン】①筆記試験80% ②課題(レポート、小テスト等)20% (①が60%以上に達していること)							
教科書	はじめてのフィジカルアセスメント		横山美樹		メヂカルフレンド社			
参考図書	フィジカルアセスメントがみえる		医療情報科学研究所(編)		メディックメディア			
教員からの メッセージ	私たちの五感を最大限に活用して情報を収集し、身体の状態を観察する科目です。人体の機能・構造を基に根拠を考えなが ら、繰り返し自己学習を行って技術を磨き、看護実践力を身に付けていきましょう。授業に際し、課題を提出してもらいま す。レポートはコメントを付けて返却します。臨床経験豊富な看護師資格を持つ教員が担当します。オンライン授業に伴 い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							